平成25年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名　株式会社 東芝　　上場取引所　東 大 名
コード番号　6502　URL　http://www.toshiba.co.jp
代表者　(役職名) 代表執行役社長　(氏名) 佐々木 則夫
問合せ先責任者 (役職名) 広報室長　(氏名) 長谷川 直人　TEL 03-3457-2100

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日　配当支払開始予定日　平成24年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,685,910	△7.8	68,975	△12.6	43,014	12.6	25,197	23.9
24年3月期第2四半期	2,912,482	△5.5	78,962	△24.7	38,197	△44.4	20,337	△26.9

(注)四半期包括利益　25年3月期第2四半期　△20,310百万円　(—%)　24年3月期第2四半期　△55,917百万円　(—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.95	5.95
24年3月期第2四半期	4.80	4.69

(注)平成23年7月に買収したランディス・ギア社に関する取得金額の資産及び負債への配分完了に伴い、平成24年3月期の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	5,463,874	1,198,625	825,215	15.1	194.86
24年3月期	5,752,737	1,230,211	863,481	15.0	203.89

(注)平成23年7月に買収したランディス・ギア社に関する取得金額の資産及び負債への配分完了に伴い、平成24年3月期の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00			
25年3月期(予想)			—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		継続事業税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100,000	△0.0	260,000	28.3	190,000	30.5	110,000	57.0	25.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、8ページ「4. その他」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	4,237,602,026 株	24年3月期	4,237,602,026 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,697,638 株	24年3月期	2,636,058 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	4,234,938,062 株	24年3月期2Q	4,235,053,770 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

期末における配当予想については現時点で未定のため開示しておりません。配当予想額については決定次第、開示いたします。

連結業績予想に関する事項につきましては、本日平成24年10月31日公表の「第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、9ページをご覧ください。

※平成 25 年３月期第２四半期連結会計期間の連結業績（平成 24 年７月１日～平成 24 年９月 30 日）

連結経営成績（３ヶ月）　　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売　上　高		営 業 利 益		継続事業税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年３月期第２四半期	1,417,047	△10.7	57,504	△23.2	57,673	64.5	37,302	87.8
24 年３月期第２四半期	1,586,377	△2.7	74,841	5.4	35,051	△40.3	19,867	△27.4

（注）四半期包括利益：
25 年３月期第２四半期会計期間 34,779 百万円（―%）　24 年３月期第２四半期会計期間 △47,354 百万円（―%）

	１株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後１株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年３月期第２四半期	8.81	8.81
24 年３月期第２四半期	4.69	4.63

（注）平成 23 年７月に買収したランディス・ギア社に関する取得金額の資産及び負債への配分完了に伴い、平成 24 年３月期の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

目　　次

１.連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２

２.連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．６

３.連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．７

４.その他
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・Ｐ．８
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・Ｐ．８
（３）会計方針の変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．９

５.四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．10
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書 ・・・・・・・Ｐ．11
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．14
（４）継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．15
（５）セグメント情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．15
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・Ｐ．18

６.補足資料
（１）決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・補足－１
（２）事業セグメント別売上高・営業損益・・・・・・・・・・・・・・・・補足－２
（３）地域別海外売上高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・補足－２
（４）セグメント別設備投資（発注ベース）・投融資・・・・・・・・・・・補足－３
（５）減価償却費・研究開発費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・補足－３
（６）パソコン売上高・営業損益・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・補足－４
（７）セミコンダクター＆ストレージ売上高・営業損益・設備投資・・・・補足－４
（８）電力・社会インフラシステム売上高・営業損益・・・・・・・・・・・補足－４
（９）医用システム売上高・営業損益 ・・・・・・・・・・・・・・・・・補足－４
2012年度第２四半期連結決算概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・補足－５

１．連結経営成績に関する定性的情報

(1)2012 年度第２四半期連結累計期間（2012 年９月に終了した６か月間）の状況について

①第２四半期連結累計期間（2012 年９月に終了した６か月間）の業績全般の状況

売上高	2 兆 6,859 億円	（△2,266 億円）
営業損益	690 億円	（△　100 億円）
継続事業税引前損益	430 億円	（＋　48 億円）
当期純損益（※）	252 億円	（＋　49 億円）

（　）内　前年同期比較、△はマイナスを表示（以下、同じ）

（※）「当社株主に帰属する四半期純損益」を当期純損益として表示しています（以下、同じ）。

第２四半期連結累計期間(2012 年９月に終了した６か月間。以下、当期)の世界経済は、欧州の一部の国々における財政の先行き不安に加え、中国、インド等をはじめとする新興経済地域においても成長鈍化が見られ、景気減速の動きが広がっています。また、国内経済も世界経済の減速を受け厳しい環境にあり、先行きについても米国における急激な財政緊縮のおそれ等、景気のさらなる下振れリスクが懸念されます。

こうした状況下、当社グループの売上高は、火力・水力発電システム、海外の原子力事業を中心とする電力関連事業、昇降機事業、医用システム事業等、社会インフラ部門が全体として好調だったものの、円高の継続、市場環境の悪化等によりデジタルプロダクツ部門、電子デバイス部門を中心に減収になり、全体として前年同期比 2,266 億円減少し２兆 6,859 億円になりました。営業損益は、社会インフラ部門が大幅な増益になり、第２四半期連結累計期間での過去最高益を達成したものの、デジタルプロダクツ部門、電子デバイス部門、家庭電器部門の減益により、全体として前年同期比 100 億円減少し 690 億円になりましたが、継続事業税引前損益は為替決済差損益の改善、資産軽量化の効果等により、前年同期比 48 億円増加し 430 億円になりました。この結果、当期純損益も堅調に推移し、前年同期比 49 億円増加の 252 億円になりました。

②当期のセグメント別の状況

セグメント	売上高	営業損益
デジタルプロダクツ部門	6,866（△1,762： 80%）	△36（△ 75）
電子デバイス部門	6,167（△1,043： 86%）	276（△ 83）
社会インフラ部門	11,453（＋1,340：113%）	497（＋ 256）
家庭電器部門	2,918（△ 148： 95%）	21（△ 38）
その他部門	1,588（△ 970： 62%）	△63（△ 146）
セグメント間消去	△2,133	△5
合　計	26,859（△2,266： 92%）	690（△ 100）

単位：億円、（ ）内　前年同期比較

（注）過年度の液晶ディスプレイ事業の業績を電子デバイス部門からその他部門に組み替えて表示しています。また、ハードディスク装置、SSD 等を、本決算短信において「ストレージ」と表記しています。

＜デジタルプロダクツ部門＞：減収、悪化

テレビ等の映像事業は、前年同期の地上波デジタル放送移行に伴う一時的な需要増加の反動等による国内市場のさらなる需要減や、北米・中国市場における販売不振もあり、当期は大幅な減収になりました。また、パソコン事業は欧州及び国内において販売台数が伸長したものの、北米での需要減による販売台数の減少等により減収になりました。これらの結果、部門全体として減収になりました。

損益面では、パソコン事業がコスト削減施策の徹底等により一定の利益水準を確保しましたが、テレビ等の映像事業が国内における液晶テレビのさらなる需要減等の影響を受け、部門全体としては前年同期比で悪化しました。

＜電子デバイス部門＞：減収、減益

セミコンダクター&ストレージ事業において、ハードディスク装置を中心にストレージが好調で増収になりましたが、半導体が円高の継続、メモリの第１四半期における価格下落、第２四半期における生産調整による減産等により減収になった結果、部門全体として減収になりました。

損益面では、システム LSI が構造改革を通じて黒字を確保し、ストレージも増収により増益になりました。一方、メモリは生産調整による需給バランスの改善効果や微細化を進めた製品の生産比率の拡大もあり第２四半期で大幅に改善したものの、第１四半期における価格下落の影響が大きく減益となった結果、部門全体としては減益になりました。

＜社会インフラ部門＞：増収、増益

火力・水力発電システムが国内外において引き続き好調であったことに加え、送変電、太陽光発電や海外での原子力事業の増収、ランディス・ギア社の買収も寄与し、エネルギ

一関連を中心に電力・社会インフラシステム事業全体が伸長しました。さらに、昇降機事業が海外売上高の伸長と事業買収により、医用システム事業が新興国での伸長によりそれぞれ増収になるなど、部門全体として大幅な増収になりました。

損益面では、円高の影響等はあったものの、国内外における火力・水力発電システムの好調や送変電、太陽光発電、海外での原子力事業の増益等、エネルギー関連を中心に伸長したことに加え、昇降機事業、医用システム事業も増収により増益になるなど、部門全体として大幅な増益になり、第２四半期連結累計期間における過去最高の営業利益を達成しました。

＜家庭電器部門＞：減収、減益

空調事業が業務用空調において増収になり、一般照明事業も LED 照明を中心に増収になったものの、洗濯機、冷蔵庫の販売数量の減少等の影響により白物家電事業が減収になり、部門全体として減収になりました。

損益面では、白物家電事業の減収の影響を受け、部門全体としては減益になりましたが、空調事業及び一般照明事業の増収に伴う増益等により黒字を確保しました。

＜その他部門＞：減収、悪化

2012 年３月に液晶ディスプレイ事業を営む子会社であった東芝モバイルディスプレイ㈱の全株式を譲渡したこと等により、部門全体として減収、悪化になりました。

(2)2012 年度第２四半期（2012 年７月から同年９月まで）の状況について

①第２四半期（2012 年７月から９月まで）の業績全般の状況

売上高	1 兆 4,170 億円	（△1,694 億円）
営業損益	575 億円	（△　174 億円）
継続事業税引前損益	577 億円	（＋　226 億円）
当期純損益	373 億円	（＋　175 億円）

（　）内　前年同期比較

第２四半期（2012 年７月から９月まで。以下、当四半期）の売上高は、エネルギー関連を中心に社会インフラ部門が全体として好調だったものの、円高の継続、市場環境の悪化等によりデジタルプロダクツ部門、電子デバイス部門を中心に減収になり、全体として前年同期比 1,694 億円減少し１兆 4,170 億円になりました。営業損益は、社会インフラ部門が増益になり、第２四半期における過去最高益を達成したものの、デジタルプロダクツ部門、電子デバイス部門等の減益により、全体として前年同期比 174 億円減少し 575 億円になりました。一方、継続事業税引前損益は為替決済差損益の改善、持分法投資損益の堅調

な推移等により、前年同期比 226 億円増加し 577 億円になり、当期純損益も前年同期比 175 億円増加し 373 億円になりました。

②当四半期のセグメント別の状況

セグメント	売上高	営業損益
デジタルプロダクツ部門	3,467（△1,042： 77%）	0（△ 45）
電子デバイス部門	3,090（△ 789： 80%）	182（△ 151）
社会インフラ部門	6,451（＋ 607：110%）	413（＋ 140）
家庭電器部門	1,502（△ 69： 96%）	20（△ 28）
その他部門	780（△ 590： 57%）	△39（△ 89）
セグメント間消去	△1,120	△1
合　計	14,170（△1,694： 89%）	575（△ 174）

単位：億円、（ ）内　前年同期比較

＜デジタルプロダクツ部門＞：減収、減益

テレビ等の映像事業は、国内市場のさらなる需要減や北米・中国市場における販売不振により、当四半期は大幅な減収になりました。また、パソコン事業は北米における販売不振等により減収になりました。この結果、部門全体としては減収になりました。

損益面では、パソコン事業がコスト削減施策の徹底等により一定の利益水準を確保しましたが、テレビ等の映像事業が国内における液晶テレビのさらなる需要減等の影響を受け、部門全体としては前年同期比で減益になりました。

＜電子デバイス部門＞：減収、減益

セミコンダクター＆ストレージ事業において、ハードディスク装置を中心にストレージが増収になりましたが、半導体が円高の継続、メモリの生産調整による減産等により減収になった結果、部門全体として減収になりました。

損益面では、システムLSI が構造改革を通じて黒字を確保し、ストレージも増収により増益になりました。一方、メモリは生産調整による需給バランスの改善効果や微細化を進めた製品の生産比率の拡大もあり当四半期では価格の改善が見られるものの、第１四半期における価格下落の影響が大きく前年同期比では減益となった結果、部門全体としては減益になりました。

＜社会インフラ部門＞：増収、増益

火力・水力発電システムが国内外において引き続き好調であったことに加え、海外での原子力事業の増収やランディス・ギア社の買収も寄与し、エネルギー関連を中心に電力・社会インフラシステム事業全体が伸長しました。さらに、昇降機事業が海外売上高の伸長

と事業買収により、医用システム事業が国内及び新興国での伸長によりそれぞれ増収になるなど、部門全体として大幅な増収になりました。

損益面では、円高の影響等はあったものの、国内外における火力・水力発電システムの好調や送変電、太陽光発電、海外での原子力事業の増益等、エネルギー関連を中心に伸長したことに加え、昇降機事業、医用システム事業も増益になるなど、部門全体として増益になりました。

＜家庭電器部門＞：減収、減益

一般照明事業がLED照明を中心に増収になったものの、洗濯機、冷蔵庫の販売数量の減少等の影響により白物家電事業が減収になり、部門全体として減収になりました。

損益面では、白物家電事業の減収の影響を受け、部門全体としては減益になりましたが、一般照明事業の増収に伴う増益等により黒字を確保しました。

＜その他部門＞：減収、悪化

（注）・四半期連結財務諸表は、米国会計基準に準拠して作成しています。但し、当社グループの営業損益は、売上高から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して算出したものであり、経営資源の配分の決定及び業績の検討のため、定期的に評価を行う対象となる損益を示しています。事業構造改善費用及び固定資産売廃却損益等は、当社グループの営業損益には含まれていません。

・モバイル放送㈱及び携帯電話事業は、Accounting Standards Codification（以下「ASC」といいます。）205-20「財務諸表の表示－非継続事業」に従い、連結損益計算書上非継続事業として取り扱われるため、過年度の売上高、営業損益、継続事業税引前損益にはこれらの事業に係る経営成績は含まれていません。当社グループの四半期純損益は、継続事業税引前損益にこれらの事業に係る経営成績を加減して算出されています。なお、2012年度において、これらの金額に重要性はありません。

・2011年７月に行ったランディス・ギア社の買収について、ASC 805「企業結合」に基づき、取得金額の資産及び負債への配分を完了しました。これに伴い、2011年度の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

・過年度の液晶ディスプレイ事業の業績を電子デバイス部門からその他部門に組み替えて表示しています。

・なお、本決算短信に記載の定性的情報は、特記のない限り前年同期との比較で記載しています。

２.連結財政状態に関する定性的情報

(1)当期の財務状況

- 総資産は、2012年３月末に比べ2,888億円減少し、５兆4,639億円になりました。
- 株主資本は、円高の更なる進行、世界的な株価下落の影響等によりその他の包括損益累計額が減少したことにより、2012年３月末に比べ383億円減少し、8,252億円になりまし

た。

- 借入金・社債残高は、社会インフラ部門の受注増加に伴う資金需要の増加、将来の成長のための戦略的投資等により、2012年３月末に比べ1,514億円増加し、１兆3,872億円になりました。
- この結果、2012年９月末の株主資本比率は2012年３月末に比べ0.1ポイント増加し、15.1%になり、D/Eレシオ（有利子負債/株主資本）は2012年３月末に比べ25ポイント増加し、168%になりました。
- フリー・キャッシュ・フローは△1,698億円（前年同期比＋483億円）となりました。

(2)主要指標のトレンド

	2010年9月末	2011年3月末	2011年9月末	2012年3月末	2012年9月末
株主資本比率(%)	14.6	16.1	14.7	15.0	15.1
時価ベースの株主資本比率(%)	32.3	32.0	24.9	26.8	19.4
ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ対有利子負債比率	7.9	3.1	19.6	3.5	―
ｲﾝﾀﾚｽﾄ･ｶﾊﾞﾚｯｼﾞ･ﾚｼｵ（倍）	4.6	11.2	2.1	10.5	―

株主資本比率：

株主資本／総資産

時価ベースの株主資本比率：

株式時価総額／総資産

株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式数により算出

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：

借入金・社債残高（期首・期末平均）／営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：

営業活動によるキャッシュ・フロー／利払い

３.連結業績予想に関する定性的情報

欧州における政府債務危機、中国、インド等の新興経済地域における成長鈍化、円高の継続等景気減速の動きが広がり、先行きも不透明感が強まっています。

このような事業環境の下、社会インフラ部門は国内外の需要を着実に取り込むことにより、売上高、営業損益ともに前回予想値を上回り高い利益水準を確保する見込みであるものの、デジタルプロダクツ部門、電子デバイス部門が映像事業、半導体事業を中心に前回予想値より減収、減益になる見込みです。この結果、全社業績は、前回予想値からは売上高、損益ともに減少する見込みですが、売上高は前期実績とほぼ同様になる見込みであり、損益面では

前期実績を上回る見込みです。

このため、当事業年度の通期の連結業績予想及びそのセグメント別内訳について、前回予想（2012 年５月８日公表）を以下のとおり修正します。

＜通期業績予想の修正＞

	売上高	営業損益	継続事業税引前当期純損益	当社株主に帰属する当期純損益	１株当たり当社株主に帰属する当期純損益
前回発表予想（Ａ）	64,000 億円	3,000 億円	2,100 億円	1,350 億円	31 円 88 銭
今回発表予想（Ｂ）	61,000 億円	2,600 億円	1,900 億円	1,100 億円	25 円 97 銭
変動幅（Ｂ－Ａ）	△3,000 億円	△400 億円	△200 億円	△250 億円	△５円 91 銭
増減率	△4.7%	△13.3%	△9.5%	△18.5%	―
（ご参考）前期実績	61,003 億円	2,027 億円	1,456 億円	701 億円	16 円 54 銭

（注）2011 年７月に行ったランディス・ギア社の買収について、ASC 805「企業結合」に基づき、取得金額の資産及び負債への配分を完了しました。これに伴い、2011 年度の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

＜セグメント情報＞

	売上高		営業損益	
	今回予想	前回予想	今回予想	前回予想
デジタルプロダクツ部門	15,400 億円	17,100 億円	50 億円	150 億円
電子デバイス部門	13,200 億円	16,400 億円	800 億円	1,000 億円
社会インフラ部門	27,100 億円	26,000 億円	1,800 億円	1,650 億円
家庭電器部門	6,500 億円	6,400 億円	100 億円	100 億円
その他部門	3,300 億円	3,400 億円	△100 億円	100 億円
セグメント間消去等	△4,500 億円	△5,300 億円	△50 億円	0 億円

４.その他

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2)簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社グループは、税金費用について当四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前損益に当該見積

実効税率を乗じて計算しています。

(3)会計方針の変更

該当事項はありません。

＊（注意事項）

本決算短信に記載されている事項には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく当社の予測です。当社グループはグローバル企業として市場環境が大きく異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性により、当社の予測とは大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。なお、リスクのうち主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- 地震、台風等の大規模災害
- 国内外における訴訟その他争訟
- 当社グループが他社と提携して推進する事業の成否
- 新規事業、研究開発の成否
- 国内外の政治・経済の状況、各種規制等
- 主要市場における製品需給の急激な変動及び価格競争の激化
- 生産設備等に対する多額の資本的支出と市場の急激な変動
- 金利為替等の金融市場環境の変化

５．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

比 較 連 結 貸 借 対 照 表

第２四半期連結会計期間末　　（単位：百万円）

摘　　要	2012年度第２四半期末 (2012年９月30日現在) (A)	2011年度末 (2012年３月31日現在) (B)	(A)－(B)
（資　産　の　部）			
流　動　資　産	2,759,722	3,009,513	△249,791
現金及び現金同等物	170,343	214,305	△43,962
受取手形及び売掛金	1,043,339	1,307,634	△264,295
棚　卸　資　産	993,182	884,187	108,995
その他の流動資産	552,858	603,387	△50,529
長　期　受　取　債　権	39,200	49,164	△9,964
投　資　等	620,670	652,061	△31,391
有　形　固　定　資　産	826,383	851,365	△24,982
そ　の　他　の　資　産	1,217,899	1,190,634	27,265
資　産　計	5,463,874	5,752,737	△288,863
（負債・資本の部）			
流　動　負　債	2,471,699	2,669,562	△197,863
短　期　借　入　金	507,425	326,141	181,284
支払手形及び買掛金	984,866	1,293,028	△308,162
その他の流動負債	979,408	1,050,393	△70,985
未払退職及び年金費用	754,351	779,414	△25,063
長期借入金及びその他の固定負債	1,039,199	1,073,550	△34,351
資　本	1,198,625	1,230,211	△31,586
株　主　資　本	825,215	863,481	△38,266
資　本　金	439,901	439,901	0
資　本　剰　余　金	400,122	401,125	△1,003
利　益　剰　余　金	600,190	591,932	8,258
その他の包括損益累計額	△613,486	△567,979	△45,507
自　己　株　式	△1,512	△1,498	△14
非　支　配　持　分	373,410	366,730	6,680
負　債　・　資　本　計	5,463,874	5,752,737	△288,863
その他の包括損益累計額内訳			
未実現有価証券評価損益	45,400	57,093	△11,693
外　貨　換　算　調　整　額	△330,953	△286,262	△44,691
年　金　負　債　調　整　額	△327,005	△338,348	11,343
未実現デリバティブ評価損益	△928	△462	△466
借　入　金　・　社　債　残　高	1,387,155	1,235,761	151,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書

比 較 連 結 損 益 計 算 書

１．第２四半期連結累計期間（９月30日に終了した６ヶ月間）　　（単位：百万円）

摘　　要	2012年度６ヶ月通算 （2012年４月１日～ 2012年９月30日） (A)	2011年度６ヶ月通算 （2011年４月１日～ 2011年９月30日） (B)	(A)－(B)	(A)／(B)
売上高	2,685,910	2,912,482	△226,572	92 %
売上原価	2,028,718	2,211,115	△182,397	92
売上総利益	657,192	701,367	△44,175	94
%	24.5	24.1	0.4	
販売費及び一般管理費	588,217	622,405	△34,188	95
営業損益	68,975	78,962	△9,987	87
%	2.6	2.7	△0.1	
営業外収益	51,597	36,513	15,084	141
受取利子	2,412	2,254	158	107
受取配当金	2,038	2,726	△688	75
雑収入	47,147	31,533	15,614	150
営業外費用	77,558	77,278	280	100
支払利子	16,494	14,342	2,152	115
雑損失	61,064	62,936	△1,872	97
営業外損益	△25,961	△40,765	14,804	－
継続事業税引前四半期純損益	43,014	38,197	4,817	113
%	1.6	1.3	0.3	
法人税等	13,076	14,066	△990	93
非支配持分控除前継続事業四半期純損益	29,938	24,131	5,807	124
非支配持分控除前非継続事業四半期純損益	0	△341	341	－
非支配持分控除前四半期純損益	29,938	23,790	6,148	126
非支配持分帰属損益（控除）	4,741	3,453	1,288	137
当社株主に帰属する四半期純損益	25,197	20,337	4,860	124
%	0.9	0.7	0.2	

２．第２四半期連結会計期間（９月30日に終了した３ヶ月間）　　（単位：百万円）

摘　　要	2012年度第２四半期 （2012年７月１日～ 2012年９月30日） (A)	2011年度第２四半期 （2011年７月１日～ 2011年９月30日） (B)	(A)－(B)	(A)／(B)
売　　上　　高	1,417,047	1,586,377	△169,330	89 %
売　　上　　原　　価	1,060,974	1,195,794	△134,820	89
売　上　総　利　益	356,073	390,583	△34,510	91
%	25.1	24.6	0.5	
販売費及び一般管理費	298,569	315,742	△17,173	95
営　業　損　益	57,504	74,841	△17,337	77
%	4.1	4.7	△0.6	
営　業　外　収　益	41,680	14,805	26,875	282
受　取　利　子	1,333	1,469	△136	91
受　取　配　当　金	711	1,261	△550	56
雑　　収　　入	39,636	12,075	27,561	328
営　業　外　費　用	41,511	54,595	△13,084	76
支　払　利　子	8,301	7,116	1,185	117
雑　　損　　失	33,210	47,479	△14,269	70
営　業　外　損　益	169	△39,790	39,959	－
継　続　事　業 税引前四半期純損益	57,673	35,051	22,622	165
%	4.1	2.2	1.9	
法　人　税　等	17,529	13,003	4,526	135
非支配持分控除前 継続事業四半期純損益	40,144	22,048	18,096	182
非支配持分控除前 非継続事業四半期純損益	0	△382	382	－
非支配持分控除前 四半期純損益	40,144	21,666	18,478	185
非支配持分帰属損益 （　控　除　）	2,842	1,799	1,043	158
当社株主に帰属する 四半期純損益	37,302	19,867	17,435	188
%	2.6	1.3	1.3	

比較連結包括損益計算書

１．第２四半期連結累計期間（９月30日に終了した６ヶ月間）　（単位：百万円）

摘要	2012年度６ヶ月通算（2012年４月１日～2012年９月30日）(A)	2011年度６ヶ月通算（2011年４月１日～2011年９月30日）(B)	(A)－(B)	(A)／(B)
非支配持分控除前四半期純損益	29,938	23,790	6,148	126 %
その他の包括損益（税効果控除後）				
未実現有価証券評価損益	△11,119	△25,736	14,617	－
外貨換算調整額	△57,037	△79,736	22,699	－
年金負債調整額	11,353	8,703	2,650	130
未実現デリバティブ評価損益	△490	△659	169	－
その他の包括損益合計	△57,293	△97,428	40,135	－
非支配持分控除前四半期包括損益	△27,355	△73,638	46,283	－
非支配持分帰属四半期包括損益（控除）	△7,045	△17,721	10,676	－
当社株主に帰属する四半期包括損益	△20,310	△55,917	35,607	－

２．第２四半期連結会計期間（９月30日に終了した３ヶ月間）　（単位：百万円）

摘要	2012年度第２四半期（2012年７月１日～2012年９月30日）(A)	2011年度第２四半期（2011年７月１日～2011年９月30日）(B)	(A)－(B)	(A)／(B)
非支配持分控除前四半期純損益	40,144	21,666	18,478	185 %
その他の包括損益（税効果控除後）				
未実現有価証券評価損益	△788	△25,938	25,150	－
外貨換算調整額	△6,752	△59,657	52,905	－
年金負債調整額	5,975	2,521	3,454	237
未実現デリバティブ評価損益	△760	△54	△706	－
その他の包括損益合計	△2,325	△83,128	80,803	－
非支配持分控除前四半期包括損益	37,819	△61,462	99,281	－
非支配持分帰属四半期包括損益（控除）	3,040	△14,108	17,148	－
当社株主に帰属する四半期包括損益	34,779	△47,354	82,133	－

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

比較連結キャッシュ･フロー計算書

第２四半期連結累計期間（９月30日に終了した６ヶ月間）　（単位：百万円）

摘要	2012年度６ヶ月通算（2012年４月１日～2012年９月30日）(A)	2011年度６ヶ月通算（2011年４月１日～2011年９月30日）(B)	(A)－(B)
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1.非支配持分控除前四半期純損益	29,938	23,790	6,148
減価償却費	104,911	116,166	△11,255
持分法による投資損益(受取配当金相殺後)	△2,820	△5,605	2,785
受取債権の増減	246,630	71,972	174,658
棚卸資産の増減	△124,023	△128,033	4,010
支払債務の増減	△280,128	△2,265	△277,863
その他	△1,182	△45,895	44,713
2.営業活動によるキャッシュ･フローへの調整	△56,612	6,340	△62,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,674	30,130	△56,804
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1.固定資産及び投資有価証券の売却収入	46,812	67,232	△20,420
2.有形固定資産の購入	△147,410	△154,179	6,769
3.無形資産の購入	△15,200	△22,702	7,502
4.投資有価証券の購入	△4,112	△3,771	△341
5.関連会社に対する投資等の増減	7,287	3,763	3,524
6.その他	△30,519	△138,570	108,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,142	△248,227	105,085
Ⅰ+Ⅱ フリー・キャッシュ・フロー	△169,816	△218,097	48,281
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1.長期借入金の借入	53,489	17,199	36,290
2.長期借入金の返済	△45,147	△129,917	84,770
3.短期借入金の増減	145,088	307,972	△162,884
4.配当金の支払	△20,208	△17,427	△2,781
5.その他	△48	468	△516
財務活動によるキャッシュ・フロー	133,174	178,295	△45,121
Ⅳ 為替変動の現金及び現金同等物への影響額	△7,320	△13,006	5,686
Ⅴ 現金及び現金同等物純増減額	△43,962	△52,808	8,846
Ⅵ 現金及び現金同等物期首残高	214,305	258,840	△44,535
Ⅶ 現金及び現金同等物期末残高	170,343	206,032	△35,689

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

セ グ メ ン ト 情 報

（事業の種類別セグメント）

１．第２四半期連結累計期間（９月30日に終了した６ヶ月間）　　（単位：百万円）

摘要		2012年度６ヶ月通算(A)〔2012年４月１日～2012年９月30日〕（構成比%）	2011年度６ヶ月通算(B)〔2011年４月１日～2011年９月30日〕（構成比%）	(A)－(B)	(A)／(B)
売上高	デジタルプロダクツ	686,602 (24)	862,822 (27)	△176,220 (△3)	80 %
	電子デバイス	616,656 (21)	721,001 (23)	△104,345 (△2)	86
	社会インフラ	1,145,299 (40)	1,011,260 (32)	134,039 (8)	113
	家庭電器	291,792 (10)	306,567 (10)	△14,775 (－)	95
	その他	158,822 (5)	255,863 (8)	△97,041 (△3)	62
	計	2,899,171 (100)	3,157,513 (100)	△258,342	92
	消去	△213,261	△245,031	31,770	－
連結		2,685,910	2,912,482	△226,572	92
営業損益	デジタルプロダクツ	△3,654	3,867	△7,521	－
	電子デバイス	27,630	35,942	△8,312	77
	社会インフラ	49,681	24,110	25,571	206
	家庭電器	2,085	5,930	△3,845	35
	その他	△6,270	8,210	△14,480	－
	計	69,472	78,059	△8,587	89
	消去	△497	903	△1,400	－
連結		68,975	78,962	△9,987	87

２．第２四半期連結会計期間（９月３０日に終了した３ヶ月間）　　（単位：百万円）

摘要		2012年度第２四半期(A)（2012年７月１日～2012年９月30日）（構成比%）	2011年度第２四半期(B)（2011年７月１日～2011年９月30日）（構成比%）	(A)-(B)	(A)/(B)
売上高	デジタルプロダクツ	346,716 (23)	450,929 (26)	△104,213 (△3)	77 %
	電子デバイス	308,996 (20)	387,895 (23)	△78,899 (△3)	80
	社会インフラ	645,085 (42)	584,349 (34)	60,736 (8)	110
	家庭電器	150,162 (10)	157,034 (9)	△6,872 (1)	96
	その他	77,975 (5)	137,153 (8)	△59,178 (△3)	57
	計	1,528,934 (100)	1,717,360 (100)	△188,426	89
	消去	△111,887	△130,983	19,096	－
	連結	1,417,047	1,586,377	△169,330	89
営業損益	デジタルプロダクツ	△51	4,424	△4,475	－
	電子デバイス	18,244	33,309	△15,065	55
	社会インフラ	41,293	27,335	13,958	151
	家庭電器	1,976	4,805	△2,829	41
	その他	△3,914	4,987	△8,901	－
	計	57,548	74,860	△17,312	77
	消去	△44	△19	△25	－
	連結	57,504	74,841	△17,337	77

（注）１．各部門の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて表示しています。
２．営業損益は、売上高から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して算出したものであり、経営資源の配分の決定及び業績の検討のため、定期的に評価を行う対象となる損益を示しています。事業構造改善費用及び固定資産売廃却損益等は、当社グループの営業損益には含まれていません。
３．過年度の液晶ディスプレイ事業の業績を電子デバイス部門からその他部門に組み替えて表示しています。

セグメント情報

（海外売上高）

１.第２四半期連結累計期間（９月30日に終了した６ヶ月間）　（単位：百万円）

摘要	2012年度６ヶ月通算(A)〔2012年４月１日～2012年９月30日〕（構成比%）	2011年度６ヶ月通算(B)〔2011年４月１日～2011年９月30日〕（構成比%）	(A)－(B)	(A)／(B)
アジア	522,321 (19)	609,069 (21)	△86,748 (△2)	86 %
北米	469,385 (18)	540,394 (18)	△71,009 (－)	87
欧州	325,402 (12)	339,256 (12)	△13,854 (－)	96
その他	153,471 (6)	141,815 (5)	11,656 (1)	108
海外売上高	1,470,579 (55)	1,630,534 (56)	△159,955 (△1)	90
連結売上高	2,685,910 (100)	2,912,482 (100)	△226,572	92

２.第２四半期連結会計期間（９月30日に終了した３ヶ月間）　（単位：百万円）

摘要	2012年度第２四半期(A)〔2012年７月１日～2012年９月30日〕（構成比%）	2011年度第２四半期(B)〔2011年７月１日～2011年９月30日〕（構成比%）	(A)－(B)	(A)／(B)
アジア	260,752 (19)	313,773 (20)	△53,021 (△1)	83 %
北米	245,306 (17)	299,081 (19)	△53,775 (△2)	82
欧州	160,291 (11)	187,881 (12)	△27,590 (△1)	85
その他	86,610 (6)	81,627 (5)	4,983 (1)	106
海外売上高	752,959 (53)	882,362 (56)	△129,403 (△3)	85
連結売上高	1,417,047 (100)	1,586,377 (100)	△169,330	89

（注）　海外売上高は、顧客の所在地に基づいています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

＊免責条項

この資料には、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。
それらにつきましては、各資料の作成時点においての経営環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。従って、実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なる結果になりうることをご承知おきください。

㈱東芝　連結

2012年10月31日

2012年度第2四半期連結決算 補足資料

(1) 決算概要

（単位：億円）

		6ヶ月累計			通期			
		2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度	2012年度 期初計画	2012年度 今回見直し
売上高		30,811	29,125	26,859	63,985	61,003	64,000	61,000
	前年同期比	106%	95%	92%	102%	95%	105%	100%
営業損益		1,048	790	690	2,403	2,027	3,000	2,600
継続事業税引前損益		687	382	430	1,955	1,456	2,100	1,900
当社株主に帰属する当期純損益		278	203	252	1,378	701	1,350	1,100
1株当たり当社株主に帰属する当期純損益	基本的	6.57円	4.80円	5.95円	32.55円	16.54円	31.88円	25.97円
	希薄化後	6.31円	4.69円	5.95円	31.25円	16.32円	31.88円	25.97円
為替換算レート	（円／ドル）	90	80	80	86	79	76	76
	（円／ユーロ）	115	116	101	113	110	102	102

（注）・2011年7月に買収したランディス・ギア社に関する取得金額の資産及び負債への配分完了に伴い、2011年度6ヶ月累計及び通期の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。2011年度通期については、営業損益を2,066億円から2,027億円に、継続事業税引前損益を1,524億円から1,456億円に、当社株主に帰属する当期純損益を737億円から701億円にそれぞれ修正しています。また、その他指標も修正しています。

・2012年度今回見直しの為替換算レートは、下期の見込レートです。

連結会社数（含東芝）		530社	565社	584社	499社	555社	－	－
期末従業員数（千人）		204	212	207	203	210	－	－
	国内	122	121	116	121	117	－	－
	海外	82	91	91	82	93	－	－

(2) 事業セグメント別売上高・営業損益

（単位：億円）

		6ケ月累計			通期			
		2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度	2012年度期初計画	2012年度今回見直し
デジタルプロダクツ	売上高	9,334	8,628	6,866	19,177	16,640	17,100	15,400
	営業損益	110	39	−36	289	−282	150	50
	(%)	1.2%	0.4%	−0.5%	1.5%	−1.7%	0.9%	0.3%
電子デバイス	売上高	7,986	7,210	6,167	15,483	14,369	16,400	13,200
	営業損益	622	359	276	611	754	1,000	800
	(%)	7.8%	5.0%	4.5%	3.9%	5.2%	6.1%	6.1%
社会インフラ	売上高	10,202	10,113	11,453	22,777	24,128	26,000	27,100
	営業損益	277	241	497	1,296	1,302	1,650	1,800
	(%)	2.7%	2.4%	4.3%	5.7%	5.4%	6.3%	6.6%
家庭電器	売上高	2,947	3,066	2,918	5,998	5,768	6,400	6,500
	営業損益	2	59	21	88	57	100	100
	(%)	0.1%	1.9%	0.7%	1.5%	1.0%	1.6%	1.5%
その他	売上高	2,800	2,558	1,588	5,446	5,063	3,400	3,300
	営業損益	27	83	−63	108	177	100	−100
	(%)	1.0%	3.2%	−3.9%	2.0%	3.5%	2.9%	−3.0%
小計	売上高	33,269	31,575	28,992	68,881	65,968	69,300	65,500
	営業損益	1,038	781	695	2,392	2,008	3,000	2,650
消去	売上高	−2,458	−2,450	−2,133	−4,896	−4,965	−5,300	−4,500
	営業損益	10	9	−5	11	19	0	−50
合計	売上高	30,811	29,125	26,859	63,985	61,003	64,000	61,000
	営業損益	1,048	790	690	2,403	2,027	3,000	2,600
	(%)	3.4%	2.7%	2.6%	3.8%	3.3%	4.7%	4.3%

（注）・過年度の液晶ディスプレイ事業の業績を電子デバイス部門からその他部門に組み替えて表示しています。
・2011年7月に買収したランディス・ギア社に関する取得金額の資産及び負債への配分完了に伴い、2011年度6ヶ月累計及び通期の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

(3) 地域別海外売上高

（単位：億円）

		6ケ月累計			通期	
		2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度
アジア		6,555	6,091	5,223	12,807	11,796
	構成比	37%	37%	36%	36%	35%
北米		5,680	5,404	4,694	11,579	11,230
	構成比	32%	33%	32%	33%	34%
欧州		4,251	3,393	3,254	8,170	7,294
	構成比	24%	21%	22%	23%	22%
その他		1,219	1,417	1,535	2,911	2,928
	構成比	7%	9%	10%	8%	9%
合計		17,705	16,305	14,706	35,467	33,248
	海外売上高比率	57%	56%	55%	55%	55%

(4) セグメント別設備投資(発注ベース)・投融資

(単位:億円)

		6ケ月累計			通期			
		2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度	2012年度 期初計画	2012年度 今回見直し
デジタルプロダクツ		62	76	63	135	128	180	180
	前年同期比	110%	122%	83%	114%	95%	140%	140%
電子デバイス		1,091	1,006	382	1,910	1,476	1,400	1,400
	前年同期比	327%	92%	38%	212%	77%	95%	95%
社会インフラ		332	321	346	671	687	800	800
	前年同期比	96%	97%	108%	82%	102%	117%	117%
家庭電器		89	115	113	139	185	200	200
	前年同期比	165%	129%	98%	137%	133%	108%	108%
その他		117	114	116	485	258	420	420
	前年同期比	179%	98%	101%	304%	53%	163%	163%
設備投資合計		1,691	1,632	1,020	3,340	2,734	3,000	3,000
	前年同期比	198%	97%	62%	159%	82%	110%	110%
投融資合計					270	1,645		
	前年同期比				69%	609%		
設備投資・投融資合計					3,610	4,379		
	前年同期比				145%	121%		

(注)・設備投資の額には持分法適用会社であるフラッシュフォワード合同会社等における当社分の設備投資の額が含まれています。
・当期を含めた3年間の累計(2012年度から2014年度)で、設備投資・投融資の合計は1兆3,700億円を計画しています。
・過年度の液晶ディスプレイ事業の業績を電子デバイス部門からその他部門に組み替えて表示しています。

(5) 減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

		6ケ月累計			通期			
		2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度	2012年度 期初計画	2012年度 今回見直し
減価償却費		1,229	1,161	1,049	2,588	2,496	2,400	2,200
	前年同期比	86%	94%	90%	87%	96%	96%	88%
研究開発費		1,579	1,568	1,428	3,197	3,199	3,400	3,400
	前年同期比	99%	99%	91%	103%	100%	106%	106%

(注)2011年7月に買収したランディス・ギア社に関する取得金額の資産及び負債への配分完了に伴い、2011年度6ヶ月累計及び通期の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

(6) パソコン売上高・営業損益

（単位：億円）

		6ケ月累計			通期			
		2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度	2012年度 期初計画	2012年度 今回見直し
売上高		4,662	4,066	3,424	9,174	8,229	8,200	7,380
	前年同期比	115%	87%	84%	103%	90%	100%	90%
営業損益		14	102	76	101	114	50	100

(7) セミコンダクター＆ストレージ売上高・営業損益・設備投資

（単位：億円）

		6ケ月累計			通期			
		2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度	2012年度 期初計画	2012年度 今回見直し
売上高	ディスクリート	1,030	970	775	1,962	1,682	2,000	1,550
	システムＬＳＩ	1,749	1,366	1,157	3,352	2,625	3,000	2,400
	メモリ	3,014	2,688	2,072	6,081	5,495	5,800	4,600
	セミコンダクター計	5,793	5,024	4,004	11,395	9,802	10,800	8,550
	ストレージ	1,738	1,755	2,049	3,387	3,959	5,200	4,200
営業損益		550	333	291	490	727	1,000	820
設備投資（発注ベース）		－	－	－	1,890	1,460	1,400	1,400

（注）設備投資の額には持分法適用会社であるフラッシュフォワード合同会社等における当社分の設備投資の額が含まれています。

(8) 電力・社会インフラシステム売上高・営業損益

（単位：億円）

		6ケ月累計			通期			
		2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度	2012年度 期初計画	2012年度 今回見直し
売上高		7,128	7,091	8,131	16,489	17,441	18,900	19,350
	前年同期比	98%	99%	115%	101%	106%	108%	111%
営業損益		－	－	－	884	950	1,200	1,270

（注）・上記の数字は、社内カンパニーの「電力システム社（ウェスチングハウス社グループを含む）」と「社会インフラシステム社」を合算したものです。
・2011年7月に買収したランディス・ギア社に関する取得金額の資産及び負債への配分完了に伴い、2011年度6ヶ月累計及び通期の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

(9) 医用システム売上高・営業損益

（単位：億円）

		6ケ月累計			通期			
		2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度	2012年度 期初計画	2012年度 今回見直し
売上高		1,610	1,594	1,747	3,375	3,508	3,650	3,920
	前年同期比	98%	99%	110%	97%	104%	104%	112%
営業損益		－	－	－	197	172	230	260

２０１２年１０月３１日
株式会社　東　　芝

2012年度第２四半期連結決算概要

１．第２四半期連結累計期間業績（９月30日に終了した６ヶ月間）　　（単位：億円）

摘　　要	2012年度 ６ヶ月通算 (A)	2011年度 ６ヶ月通算 (B)	前年同期比較	
			(A)－(B)	(A)／(B)
売上高	26,859	29,125	△2,266	92%
営業損益	690	790	△100	87%
継続事業 税引前四半期純損益	430	382	48	113%
当社株主に帰属する 四半期純損益	252	203	49	124%
基本的１株当たり 当社株主に帰属する 四半期純損益	5円 95銭	4円 80銭	1円 15銭	
希薄化後１株当たり 当社株主に帰属する 四半期純損益	5円 95銭	4円 69銭	1円 26銭	

２．第２四半期連結会計期間業績（９月30日に終了した３ヶ月間）　　（単位：億円）

摘　　要	2012年度 第２四半期 (A)	2011年度 第２四半期 (B)	前年同期比較	
			(A)－(B)	(A)／(B)
売上高	14,170	15,864	△1,694	89%
営業損益	575	749	△174	77%
継続事業 税引前四半期純損益	577	351	226	165%
当社株主に帰属する 四半期純損益	373	198	175	188%
基本的１株当たり 当社株主に帰属する 四半期純損益	8円 81銭	4円 69銭	4円 12銭	
希薄化後１株当たり 当社株主に帰属する 四半期純損益	8円 81銭	4円 63銭	4円 18銭	

（注）１．当社の連結決算は米国会計基準に準拠しています。
　　２．連結子会社数は583社となっています。

● 詳しいお問い合わせは　　広報室広報担当　電話(03)3457-2100